

# 【うれしい！観客を入れてのステージ発表】



# 久振だより

人口2500人  
1346世帯  
-第175号-  
発行  
久玉地区振興会  
発行日  
令和4年12月1日



11月13日、観客100名が来場して芸能文化祭(ステージ部門)が開催された。  
午前10開演、第1部は箏(こと)の演奏から始まり、唱歌、オカリナ演奏、舞踊、詩吟、朗読、フラダンスと演目は多様性に富んでいることもあって 皆さん興味深そうに見惚れていた。  
フィナーレは「創作牛深ハイヤ踊り」総勢15名がステージいっぱいを使って踊る様子は迫力があって、手作りの魚の入った網を引き上げるシーンは圧巻だった。  
第2部は午後1時開演、久玉うたおう会のカラオケ中心だが、途中、舞踊、フラダンスが入る。プログラムは28番まであり、久しぶりに観客を前にしての舞台だが緊張も見られず堂々と歌っていた。  
客席も馴染みの人、聞きなれた歌とあって、舞台と一体化して楽しんでいるのが感じられた。  
最後はお決まりの抽選会を楽しみながら芸能文化祭が終了した。



榎田佐代子さん・江良みどりさん 箏の演奏



戸村隆臣さん 「契り」



しろやま文庫の皆さん・詩の朗読



シャリンバイの皆さん・フラダンス



恒例の牛深ハイヤ踊り



小田和穂さん・山下五美さん  
舞踊「いもがらぼくと」



# 自分の命は自分で守る！！ =内の原区=

突然発生する自然災害は怖いものであることを認識し、“自分の命を守るには、ためらうことなく安全な場所へ逃げることを生活の中に取り入れることが大切なため、内の原区自主防災会では11月13日(日)避難訓練を実施しました。

内の原区の避難訓練は「歩くことも困難、運転もできない」という、高齢化が進む区民の現状をとらえ、令和2年天草市にお願いして身近な場所に設定した区独自の一時避難場所への避難です。

この身近な場所の一時避難場所は、3年前「いざ災害発生」という時“山の際から平らな場所へ、川のそばから高い所へ”を合言葉に、木場原・尾越・上組・中組・下組・松山の地区6カ所に設けてあります。

訓練は、区防災訓練実施要領に基づき、事前に11月行事予定として実施日時を回覧でお知らせし、天草市防災無線により実施前日には午後7時に訓練参加を呼びかけ、当時地午前7時には避難準備、午前9時には「非常事態」を知らせる

サイレンと避難開始放送により訓練を開始しました。

今回の訓練の目的は、いざという時みんなが安全な場所に逃げるためのもので、講習会・演習等もなく、「助かるための自助努力の育成」と「近隣間の共助心の育成」を目指した訓練でした。

しかし、何もなしでは次回からの出席者が減少することも懸念されるため、他の避難訓練では例のない、日常生活での「アンケート」作成をお願いし、出席者の半数以上に協力頂きました。

そのアンケートの中で

1. 避難場所を知っていますか 知っている100%
2. 日ごろ近隣と話をしますか 話をする80% 話をしない19.6%
3. 手助けをしてくれる人がいますか いる73.2% いない26.8%

これら数値から「いざという時」10人中2～3名が危険にさらされることが判明し、問題点として残りました。

今後、この問題を深く検討し「いざという時」一人の被害者も出さないよう対策を講じ、「より良い村づくりをする」ことを教えられました。

参加された区民の皆さん、都合で欠席を余儀なくされた皆さん、ご協力ありがとうございました。次回は出席者100%を達成しましょう。

内の原区長 小田銀治





# 明石恵比須神社のお祭り =明石区=



11月8日、明石恵比須神社のお祭りがあった。(毎年旧暦の10月15日に開催されている)

牛深八幡宮 田代宮司をお招きし、氏子が見守るなか海上安全と無事を祈り厳かに神事が執り行われた。

恵比須神社は、平成9年12月に久玉漁協傍の厳島神社から現在の海岸線通りに移され、明石区民の寄付で新しく建立された。

恵比須様は、海上・漁業の神、商売繁盛として信仰される神様であることから漁師地区の明石では、昔から愛され親しまれ祈りの神として祀られてきている。

現在、漁師も高齢化で少なくなったが、今後も地区の誇りであり、癒しの神としても、大切に祀られていくことだろう。

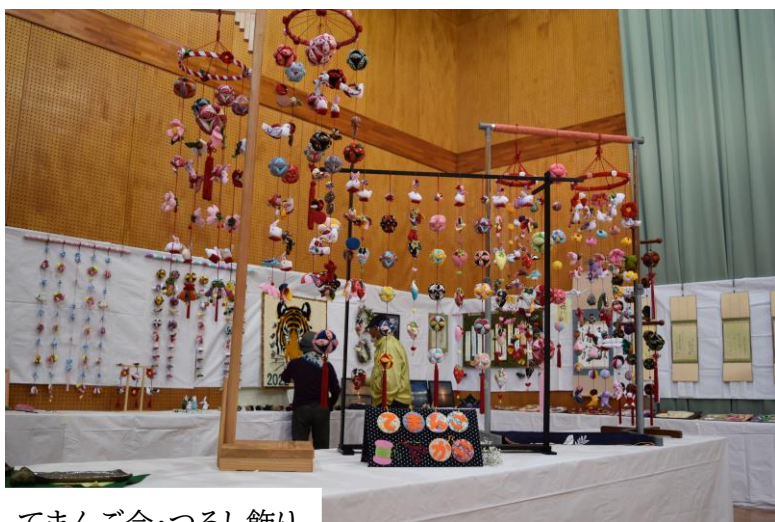
明石区長 上 藤人



しめ縄づくり



しめ縄を新しくして神事



てまご会・つるし飾り



坂田みのえさん・ウサギとカメのかけっこ



牛深愛蘭会・寒蘭



冷水勝子さん・クリスマスキャロル





# 今年も素晴らしい作品で会場が華やぎました!

11月5、6日、久玉町芸能文化祭(作品展示部門)が久玉コミュニティセンターで開催されました。

以前は「作品展示」と「芸能等の発表」を同日に開催していましたが、令和2年から新型コロナウイルス感染防止の為、日を分けて開催しています。観客動員がどうなるのか不安はありましたが、やってみると会場を広く使えることと作品のレベルが上がってきていることからか、観客は以前より増えているように思いました。

6日は、お抹茶のおもてなしがあり「美味しかったです、ごちそうさまでした」と大変好評でした。

来場者も100名を超え、盛會に終了することができました。



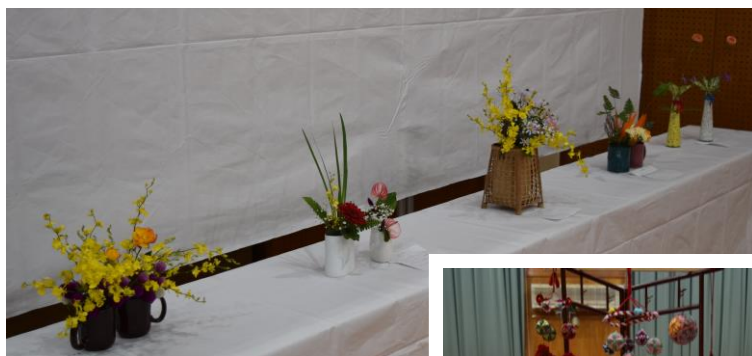
会場風景



滝下将秀さん・雪の渡月橋



江良安雄さん・折り紙「みんなで行楽」



くたま生花教室による生け花



川上亜紀さん・雨の上熊本



海ん里・ロールピクチャー



JA 女性部手芸クラブ・つりし飾り他